

(仮称) 災害の自分事化プロジェクト

～災害伝承に関する良質な情報の普及・拡大へ～

目次

- ① 前回の振り返りと本日の議論 …… 01
- ② プロジェクトのターゲットとゴール …… 05
- ③ 良質な情報を登録・認定する仕組み …… 11

1

前回の 振り返り と 本日の議論



2018年7月西日本豪雨災害を受けて新たに建立された災害伝承碑【JICE撮影】
[鳥取県坂町]

前回の協議会における主なキーワード

1. ターゲット（対象者）

例）近年被災経験のない地域、児童・生徒、地域のリーダー 等

2. 情報に触れるタイミング

例）学校教育、祭り、不動産契約時 等

3. 本プロジェクトのゴール

4. その他

- 4.1 良質な情報（コンテンツ）の発掘・育成
- 4.2 プロジェクトが対象とする「行動」
- 4.3 総力戦
- 4.4 ヒト、モノ、カネ

今回及び次回の協議会の進め方（案）

議論する内容

1. プロジェクトのゴールとターゲット（対象者）
2. 良質な情報を登録、認定する仕組み

第2回 協議会

3. 良質な情報を伝える仕組み
4. プロジェクトの進め方、体制

第3回 協議会



- ・ 検討成果（本協議会の活動方針又は要綱）のとりまとめ・公表
- ・ 具体的な活動の開始

今後の予定（案）

2023年内 第3回 災害の自分事化協議会



とりまとめ公表

2024年

4～5月 登録及び認定案件の選定
（（仮称）選定委員会）

■ “認定”の名称決定
（例：「世界遺産」「道の駅」）
（ロゴマークの決定）

■ Webサイト立ち上げ

5～7月 登録及び認定案件の決定
（第4回 災害の自分事化協議会）
認定書授与



2019年10月台風19号による被災状況(栃木県佐野市)【JICE撮影】

2

プロジェクト のターゲット とゴール

ご議論頂きたいこと

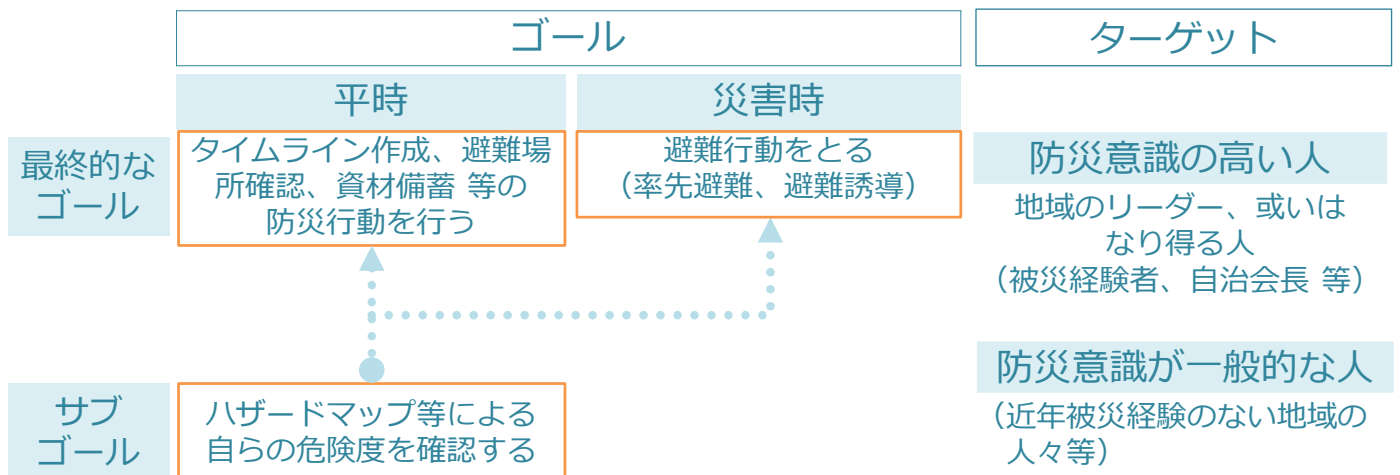
- プロジェクトのゴールの設定方針について
- ゴールの設定方針を踏まえた、具体的なゴールについて
- ゴールの評価指標について

プロジェクトのゴールの設定方針（案）

■ゴールの設定方針

1. ターゲットの特性（自分事化のレベル）に応じたゴールを設定する。
2. 平時と災害時の2つの場面でのゴールを設定する。
3. ゴールには可能な限り指標を設定する（プロジェクトにフィードバックするため）

■ゴールの設定のイメージ



ターゲットが情報に触れるタイミング

ターゲット	タイミングの例
個人 防災意識の高い人 【地域のリーダー、或いはなり得る人】（被災経験者、自治会長等）	1)流域治水協議会 2)防災訓練、防災に係るイベント 3)商工会議所等の定例会、勉強会
防災意識が一般的な人 （被災経験のない、或いは、少ない地域等）	1)家を建てる時、保険加入時 2)お祭り、町内会
児童・生徒	1)学校行事（避難訓練、社会見学、修学旅行） 2)学校からの宿題（夏休み、日々の宿題）
ボランティア	1)研修、訓練等
企業（必要に応じて業種毎に細分化）	1)TCFD ^{※1} 、ESG ^{※2} 、有価証券報告書、統合報告書 2)BCP ^{※3} 策定・更新 3)防災（避難）訓練

※1 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD：Task Force on Climate-related Financial Disclosures）

※2 環境、社会、企業統治（ESG：Environment, Social, Governance）

※3 事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）

プロジェクトの効果の評価指標【イメージ】

良質な情報に触れることによるターゲットの防災意識の変化

▶ アンケート調査等による効果測定を踏まえたゴール設定の見直し

【参考; 「防災に関する世論調査」 (内閣府) における質問と回答率 (複数回答)】

質問事項	「はい」の回答率
・ 自然災害への対処などを家族や身近な人と話し合いをしている	61.4%
・ 防災訓練への参加または見学したことがある	48.7%
・ 火災保険や火災共済に水害補償を付帯して加入している	44.8%
・ 食料・飲料水、日用品、医薬品などの準備している	40.9%
・ 近くの学校や公民館などの避難場所・避難経路を決めている	35.0%
・ 浸水しやすい地域など、危険な場所を確認している	29.8%
・ 家族の安否確認の方法などを決めている	16.0%

【出典; 『「防災に関する世論調査」の概要 令和4年12月 内閣府政府広報室】

ご議論頂きたいこと

- プロジェクトのゴールの設定方針について
- ゴールの設定方針を踏まえた、具体的なゴールについて
- ゴールの評価指標について

3

良質な情報を
登録・認定
する仕組み

気仙沼東日本大震災遺構・伝承館(宮城県気仙沼市)【JICE撮影】

ご議論頂きたいこと

- 登録・認定の対象
- 登録・認定基準
- 登録・認定のプロセス

良質な情報を登録・認定する仕組み

1. 目的

良質な情報（コンテンツや活動）の登録、認定を通じて、それらに接触する機会を増やすと共に、情報自体の質的向上並びに更なる情報の発掘・育成を目的とする。

2. 対象（案）

過去の災害の事実と教訓を伝承する

- ・ コンテンツ（Web、冊子、展示施設等） 及び
- ・ 活動（祭り、語り部等）

で、平時の防災・減災行動や災害時の避難行動につながるもの。

※当面、流域治水の自分事化の一環として「水害（洪水、土砂災害、高潮）」を対象とするが、全ての自然災害に展開することを念頭に置く。

※以下のものは対象外とする

- ・ コンテンツ作成、活動の「実施団体」自体
- ・ 鎮魂的な内容のみを有するもの

登録・認定の基準・プロセス

3. 要件（案）

項目	登録	認定
登録認定候補案件の抽出	1)流域治水協議会 [※] が推薦したもので、先方から登録の了解が得られたもの 2)その他、登録が適当であるとして事務局で抽出したもの	「登録」と同様
登録認定の基準	1)別途定める評価項目(p15参照)に基づいて選定する。 2)災害の自分事化に効果があり、他の参考になるものは、必ずしも全ての評価項目を満たさなくてもよい。	1)別途定める評価項目(p15参照)全てを満たし、特に優れたものを選定する。
登録認定後の取り扱い	1)本協議会ホームページ(事務局作成予定)で案件の概要を掲載する。 2)登録有効期間(例;3年間)を定める。	1)認定書を授与する。 2)本協議会ホームページ(事務局作成予定)で案件の詳細を掲載する。 3)認定有効期間(例;3~5年間)を定める。

※；流域治水協議会

令和2年7月、国土交通大臣の諮問機関である社会資本整備審議会がとりまとめた「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について 答申」を踏まえ、河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」への転換を進めることを目的として設置される組織。

登録・認定の評価項目

- 登録・認定は、以下の評価項目をもとに行う。
- 登録については、必ずしもすべての評価項目を満足しなくてもよいこととする。

登録・認定の評価項目（案）

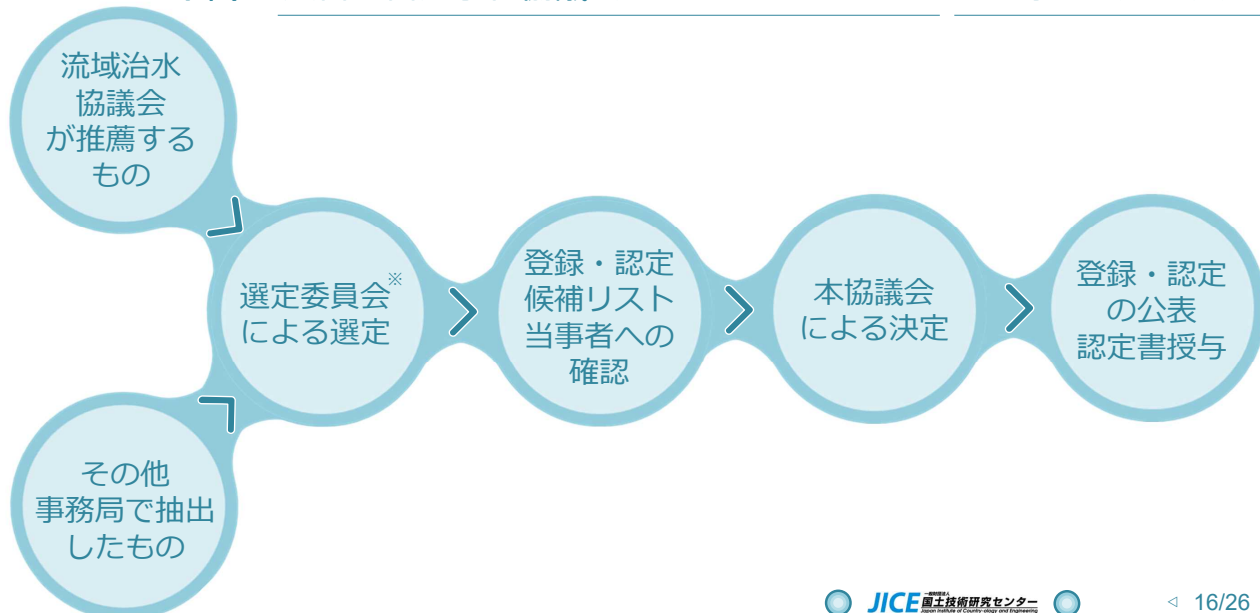


登録・認定のプロセス

4. 体制、プロセス（案）

■体制（案）

名称	役割
（仮称）選定委員会* ▶本協議会構成員から登録、認定の選定において中立性のある委員で構成	登録、認定の選定
■プロセス（案） 災害の自分事化協議会	登録、認定の決定



ご議論頂きたいこと

■登録・認定の対象

▶対象災害

- ・最初は「水害」でスタートし、その後、対象災害を順次拡大。
(ただし、「水害」以外でも特に他の参考となるものについては当初から対象とする。)

※参考；災害対策基本法における災害の定義(第二条<抜粋>)

暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑りその他の異常な自然現象

▶対象とする（しない）情報

■登録・認定基準

- ▶登録・認定の有効期間の有無及び期間設定の考え方
- ▶登録・認定の取り消しの有無及び有の場合の考え方
- ▶登録案件の全国的バランス考慮の必要性有無（例；都道府県単位、一級水系単位での抽出）
- ▶当面の毎年の登録案件数の目安（例；都道府県や水系単位で最低1件 等）
- ▶登録・認定の括りの考え方
(例；活動単独、複数の活動で構成されている取り組み全体、単独・全体一括)

■登録・認定のプロセス

- ▶候補案件収集方法（例；「流域治水協議会からの推薦」及び「事務局抽出」の2ルート。）
- ▶候補リスト当事者への事前確認
- ▶選定委員会における中立性の確保（考え方）

災害伝承のコンテンツ、活動の事例

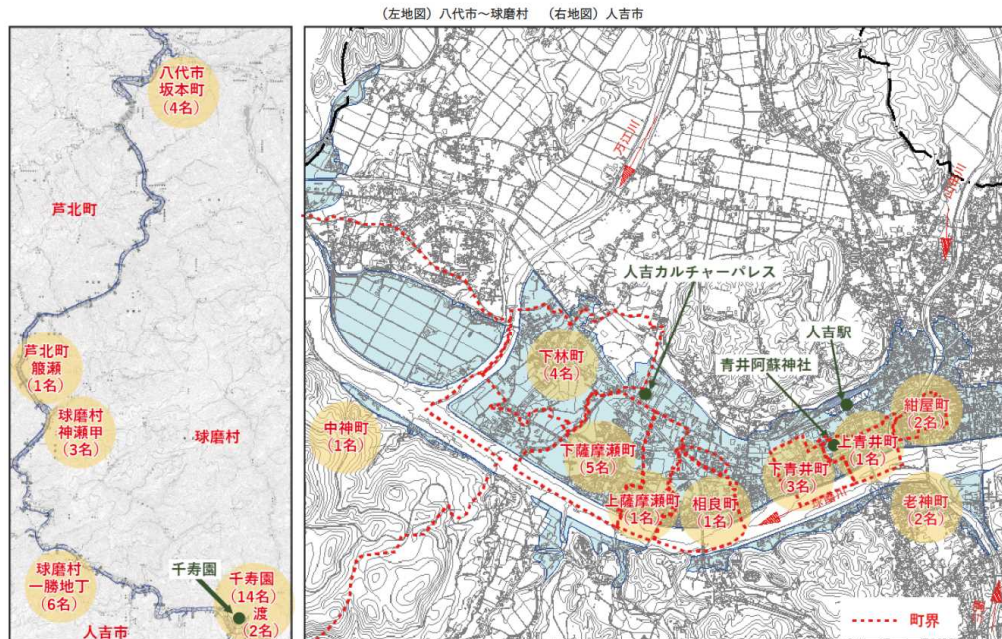
No.	名称	場所	コンテンツの種類	情報を伝える仕組み
1	3.11伝承ロード	東北地方 6県	・伝承施設	・伝承施設の認定及びネットワーク化 ・旅行業界との連携 ・語り部の育成、連携
2	和歌山県土砂災害啓発センター	和歌山県 那智勝浦町	・伝承施設	・被災者の手作り紙芝居による語り部の配置
3	球磨川水害伝承記 ～後代に残す記録～	熊本県 球磨川流域	・デジタルアーカイブ	・犠牲者が発生した場所と人数を明示した地図
4	自然災害伝承碑スタンプラリー 伝Q	大阪府 大阪市	・スマホアプリケーション によるスタンプラリー	・スタンプラリー
5	四国防災八十八話 四国防災八十八話マップ	四国 4県	・印刷物 ・スマホアプリケーション	・幅広い年齢層への情報発信と利活用
6	三重大学教育学部附属小学校 における河川防災学習	三重県 津市	・防災教育のための教材	・学校独自の研究課題（対 教師） ・教科横断的な授業（対 児童）
7	えちごせきかわ 大したもん蛇 まつり	新潟県 関川村	・祭り	・年中行事化
8	福知山治水記念館	京都府 福知山市	・伝承施設等	・伝承施設における語り部の配置

球磨川水害伝承記 ～後代に残す記録～

【熊本県 球磨川水系】

事務局が抽出した「工夫されていると思われる点」	人の意識に働きかける人的被害の表示方法			
事務局が選定した「要件案に該当すると思われる項目」	<input checked="" type="checkbox"/> ①	<input checked="" type="checkbox"/> ②	<input checked="" type="checkbox"/> ③	<input checked="" type="checkbox"/> ④

令和2年7月豪雨の人的被害状況



※浸水範囲は国土交通省調査に基づく
 ※犠牲者の発生場所については熊本県災害対策本部会議資料（熊本県警察本部提供資料）の「住所」に基づき集計したものを記載
 【出典；https://kumalriver-r0207archive.jp/overview/detail/chapter2-1.html】

自然災害伝承碑スタンプラリー伝Q

【大阪府 大阪市】

事務局が抽出した「工夫されていると思われる点」	新規作成によるスマホアプリケーションを利用したスタンプラリー			
事務局が選定した「要件案に該当すると思われる項目」	<input checked="" type="checkbox"/> ①	<input checked="" type="checkbox"/> ②	<input checked="" type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④

防災への取組紹介



弊社は大阪市住之江区に本社を置く手帳製作を生業にしている企業です。大阪府は昔から水害の多い街です。そのため防災に力を入れており地区の防災リーダー活動や、災害時の避難行動における伝達の障壁を小さくするための手帳を製作、直近では2025年開催予定の関西万博の共創パートナーとなり、共創チャレンジでも自然災害伝承碑スタンプラリーを行っています。

TEAM EXPO 2025 共創チャレンジ 自然災害伝承碑スタンプラリー

2023伝Q 伝承碑バトンQ

自然災害伝承碑に記された大切なバトンを今に未来に
 自然災害が起こったときに命を守る大切なことをわたしたちに伝えるために
 君の大切な人や火事や地震でなくなった人たちのために残して残して残して
 伝Q(でんきゅう)は大切なメッセージをみつめて自分の命をまもる力をつくるためのスタンプラリーです。

開催概要

- ・ 日時：2023.11.11(土) 10:00-12:15 (受付9:30-)
- ・ 場所：奥倉・九条東公園 / 解散：西長堀公園
- ・ 定員：九条東小学校～西長堀公園 (約2千名)
- ・ 対象：小学生以上
- ・ 定員：28組 (最大50名まで)
- ・ 費用：無料
- ・ 申込：事前予約制
- ・ 申込：2023.7.20-11.4 17:00まで
- ・ 予約：WEB予約サイト

ご参加にあたって

スタンプラリーに下記が必要です

- ・ スマートフォン
- ・ 筆記具

場所の検索や訪問証明にスマートフォンを活用します。その際にかかる通信料は参加者のご負担となります。お子様とご参加される保護者の方は必ずお子様と一緒にの行動をお願いします。万が一の迷子、事故・怪我等については責任を負いかねます。予めご了承の上、お申し込みください。

予約・詳しくはこちら

予約WEBサイト：https://coubic.com/denq
 お問い合わせ：489denq@gmail.com

四国防災八十八話【冊子、県別マップ】

【四国 4県】

事務局が抽出した「工夫されていると思われる点」	地域独自の風習(お遍路(四国八十八箇所))に合わせた災害伝承のとりまとめ及び防災情報を追加した県別マップの追加製作			
事務局が選定した「要件案に該当すると思われる項目」	☑ ①	☑ ②	☑ ③	☑ ④



国土交通省四国地方整備局が企画。愛媛大学防災情報研究センターが事例を収集し、四国防災八十八話検討委員会が編纂(2008(H20))

四国防災八十八話マップ【県別】 (B2・両面印刷・八折)

▶四国防災八十八話マップに関する一連の取り組みは、令和3年土木学会広報大賞「最優秀賞」、令和4年日本沿岸域学会「出版・文化賞」を受賞。

【出典； <https://www.tokushima-u.ac.jp/rcmode/business/shikoku88.html>】

三重大学教育学部附属小学校における河川防災教育

【三重県 津市】

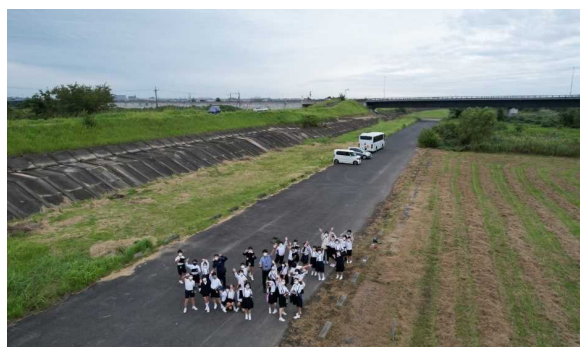
事務局が抽出した「工夫されていると思われる点」	「一人の市民として防災行動の変容をめざす」ことをゴールとした、学校独自の教員のスキルアップも含めた教育プログラムの策定と実践			
事務局が選定した「要件案に該当すると思われる項目」	☑ ①	☑ ②	☑ ③	☑ ④

■三重大学教育学部附属小学校（校長 山本 嘉）では、2018年度から「流域治水」をテーマに河川防災教育に取り組み、小学校5年生以上で、理科、社会科、総合的な学習の時間を活用した教科横断的な探究学習を展開。

▶河川防災教育で設定しているゴール

一人の市民として防災行動の変容を目指す

【出典；「第3回 全国河川教育実践研究会 三重大会 2023」資料】



ドローンを活用して雲出川の調査をする児童

【出典； <https://www.mie-u.ac.jp/news/topics/2023/04/-no.html>】

※「ドローンを活用して流域治水について探究する授業」は、以下の賞を受賞。

- ・第20回(2021年)ちゅうでん教育大賞「教育奨励賞」【(公財)ちゅうでん教育振興財団】
- ・令和元年度 河川基金優秀成果表彰 「文部科学大臣賞」【(公財)河川財団】
- ・令和2年度 河川基金「優秀成果表彰」【(公財)河川財団】
- ・令和3年度 助成事業「学校部門」国土交通大臣賞【(公財)河川財団】
- ・第25回(令和5年度) 日本水大賞「文部科学大臣賞」【日本水大賞委員会】

えちごせきかわ 大したもん蛇まつり

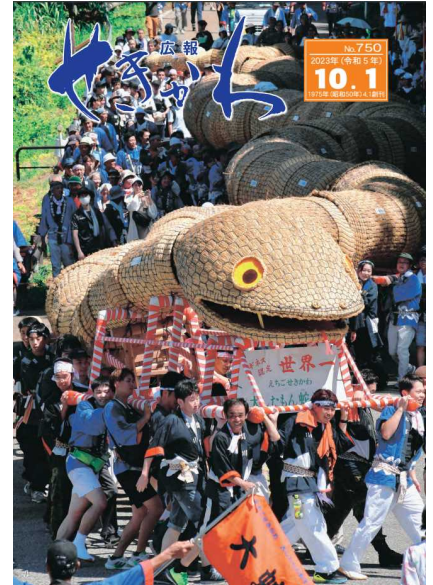
【新潟県 関川村】

事務局が抽出した「工夫されていると思われる点」	過去の災害の記憶、伝承を溶け込ませた、地域の活性化にも寄与する年中行事化			
事務局が選定した「要件案に該当すると思われる項目」	<input checked="" type="checkbox"/> ①	<input checked="" type="checkbox"/> ②	<input checked="" type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④

■佐藤翔輔 東北大学 災害科学国際研究所 准教授による研究成果

- ▶4人に3人は、羽越水害発生日を知っており、大蛇の長さが影響していると考えられる。
- ▶祭りによく参加している人が、災害に対してよく備えを行っている。但し、水害の伝承や家族と話し合うことの方がより、関係している。
- ▶祭りは防災行動に直接作用せず、祭りの参加は災害の記憶を醸成し、記憶が住民の防災行動に影響している。

【出典：佐藤翔輔，流域治水に関する事例報告，国土交通省「水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化検討会」第2回検討会資料（原典：佐藤翔輔(2020):1967年羽越水害の伝承手法としての「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」の成立・継続・効果に関する調査・考察，自然災害科学，Vol. 39，No. 2，pp. 157-174ほか2編）】



【出典：「広報せきかわ（2023年10月号）」表紙
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/politics/125/22eee20b00ac/index.html>】

福知山治水記念館

【京都府 福知山市】

事務局が抽出した「工夫されていると思われる点」	・水害に対応した特殊な構造を有する町家の利用した施設 ・被災者の肉声による証言による、視覚、聴覚の両面からの効果的な意識への働きかけ及び			
事務局が選定した「要件案に該当すると思われる項目」	<input checked="" type="checkbox"/> ①	<input checked="" type="checkbox"/> ②	<input checked="" type="checkbox"/> ③	<input checked="" type="checkbox"/> ④

- 1953(S28)台風13号による水害（二十八水）から50周年を契機に、災害の記憶、教訓の伝承を目的として、1880(M13)年築の民家を利用して開館。

- パネル、映像、避難時の荷揚げ用滑車「タカ」、水位モニュメント等の展示及び語り部を配置。



【出典：https://morinokiyoto.jp/spot/spot-8199/1】



館内



語り部



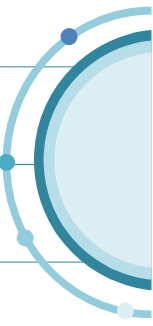
タカ

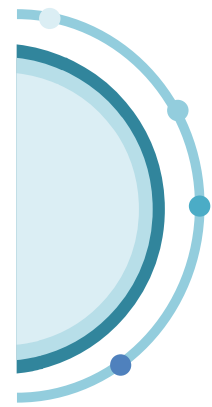


水位モニュメント

【出典：https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/mitsuhide/1】

【出典：https://fukutan.net/chisuiki-kinenkan/】





2023
1024